

## 令和4年度 芦屋市自立支援協議会 実務者会について

## 1. 令和4年度実務者会の取組内容

昨年度に引き続き、「新・芦屋市障がい福祉の課題解決システム」に基づいて座談会を開催し、広く地域課題の抽出を行うこととなった。昨年度の改善点を踏まえ、専門部会への引き継ぎをより丁寧に行うため、下記のスケジュールで進行する。

## 2. 令和4年度実務者会の開催状況

	日時	場所	内容
第1回	令和4年 5月26日	芦屋市保健福祉 センター	前年度の報告。座談会の実施計画の立案。
座談会	令和4年 7月22日 ・27日	芦屋市保健福祉 センター	座談会実施。直後に振返りを実施し、どのような課題が語られたかを担当間で共有・客観的視点で取りまとめを作成した。
第2回	令和4年 8月22日	芦屋市保健福祉 センター	座談会でどのような内容が語られたか報告、共有を行い、参加者が実際に語った「困り事」と「要望」について焦点をまとめた。その結果、3つの困り事・要望に集約された。 透明性の担保(市民への情報公開)については事務局で検討することとなり、専門部会の評価については、今年度は専門部会の構成員が自己評価し、来年度以降は実務者会で評価ができるよう準備を行うこととなった。
第3回	令和4年 9月29日	芦屋市保健福祉 センター	たたき台案の実現可能性、緊急性、必要性の再確認を行い、教育と福祉の連携強化や、既存のサポートの活用、生涯に渡り支援を途切れさせないことなどの課題解決のため、「サポートの見える化」について検討することとなった。 今後は11月末までに、「フローづくり」「障がい福祉サービス事業所での相談受付(こども110番のようなもの)」「サポートファイルや冊子、あしやねっとなどの見直し」について、関係機関にヒアリングを実施する。
	10月17日	第1回本会議にて進捗を報告	
第4回	令和4年 12月	未定	より具体的な実施計画の作成 次年度専門部会構成員の選定
第5回	令和5年 2月	未定	専門部会の評価(必要に応じて事前にアンケートなどで客観的な評価データを収集しておく) 外部専門家による評価
	3月	本会議にて報告	

令和4年度 実務者会構成員

構成員	No	所属	名前	正副
	1	株式会社メディケア・リハビリ PARC(パルク)あしや	亀澤 康明	正
	2	芦屋市身体障害児者父母の会 (芦屋市障害者連絡協議会)	能瀬 仁美	副
	3	社会福祉法人三田谷治療教育院 治療教育部	河井 悦子	
	4	特定非営利活動法人キャンピズ ウィズ芦屋	阪田 昌三	
	5	芦屋市障がい者相談支援事業	立山 佳苗	
	6	芦屋市障がい者相談支援事業	齋藤 正樹	
	7	芦屋市障がい者就労支援事業	大浦 由美	
オブザーバー (学識経験者)		兵庫県立大学大学院教授	木下 隆志	

事務局	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三芳 学
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	寺岡 康世
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	佐野 敬
	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三木 菜津子
	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	鈴木 達哉
	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	品川 大輔